

直方市学校規模適正化基本計画検討委員会（第2回）会議録（要点筆記）

○開会及び閉会に関する事項

・開催日時

令和7年3月25日（火）

開会 16時00分 閉会 18時00分

・開催場所

直方市中央公民館 第1学習室

○出席委員

日高委員、下元委員、大塚委員、井上委員、松莊委員、矢野委員、
池田委員、池本委員、金本委員、上川委員、仲野委員、岸田委員

○事務局

熊井部長、石松課長、守田係長、青山

松本課長、岩尾課長、長田課長、角田

○配布した資料

○②(表紙)第二回表紙直方市学校規模適正化基本計画検討委員会

○②-00 会議次第

○②-01 直方市立学校施設の現状について

○②-02 直方市立学校施設の財政状況について

○会議の記録

1.開会

委員12人の出席があることから、会議が成立していることを確認

・学校規模適正化基本計画に関する要望について

直方市学校規模適正化基本計画検討委員会会長宛に、令和7年3月7日付で提出された「学校規模適正化基本計画に関する要望」について、確認。

会長より、直方市学校規模適正化基本計画検討委員会は、教育委員会からの諮問があった項目について調査及び審議する直方市教育委員会の附属機関であり、直方市学校規模適正化基本計画」を最終決定する権限は有していないということを確認。会議の場では、委員それぞれの立場から自由に意見を発言いただきたいことを確認。

・市民への説明会について

市民への説明会につき、現時点で説明会の開催（時期・内容）を決定しているものではないが、基本計画決定の前にも検討の状況を説明するための説明会の開催を予定していることを確認。

2.議事

(1) 協議 ・人口（児童・生徒数）推計の分析、課題抽出

【委員意見】

・前回の説明であった人口（児童・生徒数）の推計をみて、どの学校のことをいつの時期から検討を始めるか、どういった状況になったら検討を開始するか、どういうことを検討するか、ということを整理しておく必要がある。

⇒次回以降、もう少し踏み込んで議論を行う。

・基本計画を完成させたとしても、状況に合わせてその基本計画の修正を行う必要がある場合を想定しておく必要がある。

・統廃合ありきで検討をしているのではないことを改めて認識した。

(2) 事務局説明

資料「②-01 直方市立学校施設の現状について」を用いて、事務局より説明。

【説明に対する質問及び意見】

・雨漏りが発生している状況について、すぐにでも改修をしてほしい。改修が遅れることで、全く使えなくなることもありうる。

・以前実施した保護者アンケートや教職員アンケートでも、学校施設の充実や児童生徒が快適に学べる環境を重視する旨の意見が多かった。

・修繕、改修について、どのように行っていくのか。

⇒（事務局）必要な修繕は実施していくが、大規模改修（外壁工事等）は学校規模適正化の検討を踏まえて計画していく必要がある。

⇒こどものために、必要な改修等は速やかに実施してほしい。安全に関わる部分は特に、考慮する必要がある。

資料「②-02 直方市立学校施設の財政状況について」を用いて、事務局より説明。

【説明に対する質問及び意見】

・現状、学校運営に様々な費用がかかっていることは分かる。学校規模適正化の検討において重要なのは、「学校施設に関して、直方市がどれくらいの財政支出が可能なのか」といった点や、「仮に学校施設の新築等を行う場合、どれくらいの費用がかかるのか」といった点と思われるので、次回以降に説明を求めたい。

⇒（事務局）第3回目において、「直方市公共施設総合管理計画」「直方市の財政状況」について、事務局から説明をさせてほしい。

・施設管理に要する費用について、令和6年度の予算額等は分かったが、過去数年程度の推移も見てみたい。

・教員の働き方改革が必要と言われている中で、机や椅子等の物品の準備に教員の時間がとられている現状について、考えるところがある。

・この検討委員会の中で、多面的な実態把握をすることが求められている。学校を取り巻く現状、という面の把握もしておきたい。

⇒「令和の日本型教育」について、事務局説明を求める。

3.日程調整

第3回目の開催につき、令和7年5月21日（水）16時から、と決定。

4.閉会